

# 終末期在宅療養者への家族介護者による投薬管理上の課題と支援ニーズ

## — 国内外文献レビュー —

大釜 信政（帝京科学大学）

### I. はじめに

超高齢・多死社会にある日本では、在宅での看取りケアの拡充が求められている。家族介護者は、終末期在宅療養者に対する投薬管理を的確に遂行するために、時間や労力、強い緊張も強いられている。家族介護者が安全かつ効果的に投薬管理を行い、負担も軽減するためには、専門職者のサポートが不可欠である。しかし、家族介護者による投薬管理を支援するための日本の先行研究は少ない。このような背景を踏まえ、海外の先行研究も参考にしつつ、終末期在宅療養者に対する家族介護者による投薬管理のための支援について検討することは喫緊の課題である。

そこで本研究では、国内外の文献を精読し、家族介護者による投薬管理上の課題や必要とされている支援について明らかにすることを目的とした。

### II. 研究方法

#### 1. 文献選定方法

国外文献の選定では、PubMed を用いて「end-of-life」「patients」「family caregivers」「medication management」「home care」のキーワードでAND検索した。国内文献については、医中誌Webを用いて「終末期」and「患者」and「家族」and「薬剤」and「在宅」のキーワードで検索した。2000年以降に発行され、終末期療養者に対する家族介護者による投薬管理上の課題や支援ニーズが示された原著論文を選定した。

#### 2. 分析方法

家族介護者による投薬管理に関する課題や必要とされている支援に該当する箇所を抽出し要約した。要約内容の類似性に従ってカテゴリ化し、特徴を反映できるラベルを付けた。

### III. 結果

上記の選定方法を経て、アメリカ合衆国13編、イギリスが4編、オーストラリアと日本がそれぞれ2編、アイルランド共和国とシンガポールは1編ずつ、合計23文献を分析対象とした。

家族介護者による投薬管理上の課題として、【家族介護者のスキル不足】【多様な障壁】【療養者の心身の状況が与える影響】【親族間の意見の相違】【不十分な専門サポート】【家族介護者が抱える多大な負担】が判明した。家族介護者による投薬管理の現状から求められる支援として、【スキルを向上させるための指導】【システムやガイドラインの整備】【療養者と家族介護者にとって最適な薬剤処方】【コミュニケーションの促進】【家族介護者の全体像を捉えた支援】【必要性に応じて公的支援を追加】【専門職者としての基本姿勢】を必要としている点が明らかになった。

### IV. 考察

終末期在宅療養者にとって安全で効果的な投薬管理を家族介護者が実践するために、医療専門職者による十分な指導が求められている。適時かつ適切な投薬管理を支援するためのシステム構築やガイドラインの整備が必要である。療養者と家族介護者にとって、最適な薬剤処方も求められている。専門職者は、家族介護者との信頼関係を確立し、療養者や家族介護者の生活上の希望に寄り添う姿勢をもつことが肝要である。

謝辞：公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団「在宅医療推進のための調査研究等への助成」を利用しました。